

2021年 1月 10日 主日礼拝

司式：坂田長老

奏楽：山中

*讃美歌は声を出さないで心の中で歌いましょう。

《神のみ前に近づく》

前奏
序詞 (ヴォタム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の
交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 278-1節 (暗き闇に星光り)

罪の告白 (声を張り上げないで共に祈ります)

父なる神さま、世の中は讃美も礼拝さえも自肅
を求められるような状況に陥っています。どうか
私たちの罪を赦し、正しい道と救いの御手を示し
てください。この教会に連なるお一人お一人が希
望を持ってこの一年を生き抜いて行けますように。
何より、あなたが共におられるという信仰を豊か
に与えてください。

主よ、教会の子どもたちのことを覚えて祈りま
す。あなたが蒔いてくださっている福音の種が、
育まれ、いつか豊かに実を結ぶ時が与えられます
ように。特に今年、成人を迎える方々を祝い、支
え、導いてくださいますように。

「わたしたちを造られた方

主の御前(みまえ)にひざまずこう。

共にひれ伏し、伏し拝もう。」

(詩編 95:6)

*しばらく黙禱の時をもちます

主よ、私たちの心と体を生き返らせ、喜びで満た
してください。御名によって祈ります。アーメン

讃美歌 32-1節 (キリエ)

赦しの確認と保証 (司式者のみ)

主の赦しと慰めの言葉をお聞きください。

*司式者がローマ書5章6~9節を朗読します。

アーメン。

《神のみ言葉の宣教》

聖書

歴代誌下 20章13~22節 (旧p695)

これは神の言葉です。

神に感謝します。

ヨハネの黙示録 14章1~13節 (新p468)

これはキリストの福音です

主なるキリストを賛美します。

み言葉を求める祈り (司式者)

讃美歌 155-1節 (山べにむかいて)

説教

『黙示録④—新しい歌を歌う者
たち』

祝福の祈り

武田真治牧師

《神への応答》

讃美歌 452-1節 (神は私を救い出された)

献金

奉仕者：兼川 金刺

とりなしの祈り (司式者)

主の祈り 93-5 =ともに祈りましょう

報告

讃美歌 90 (主よ、来たり、祝したまえ)

祝祷

武田真治牧師

後奏

報告と退場

受付：飯田 吉岡 礼拝：齋藤長老

お茶の会 当分の間休会です。

＜先週の説教から＞

『黙示録④—けだものの刻印』

申命記 13:2~6 ヨハネの黙示録 13:11~18

黙示録の12~13章には、竜そして二匹の獣が次々と登場して来ます。これらはすべてサタン化身です。サタンは「天から投げ落とされた」存在ですから、もはや永遠に生きることは出来ず、いつか地と共に滅びる者となりました。しかし、その腹いせに出来るだけ一緒に滅びる者を増やそうと暗躍します。しかも自分は姿を現さず、他の生き物に身をやつして!

今日の箇所は二匹目の獣です。ただ、この獣は自分を拝ませるように動くのではなく「先の(一匹目の)獣を拝ませる」ために「地中から上って来た」のでした。この後の16章13節では、この獣のことを「偽預言者」と呼んでいます。神様から遣わされていない偽物の預言者だと。確かにこの獣は「人々の前で天から火を降らせ」ます。これは旧約の預言者エリヤのまねですし、「しるし(奇跡)によって人々を惑わせる」のもモーセのまねです。そのようにして人々を扇動し「すべての者にその右手か額に刻印を押させた」のです。これは奴隷の印です。サタンに服従させる呪いの刻印を押させるのです。「この刻印とはあの獣の名、その名の数字である」と言われその「数字は666である」と預言されています。

以来、多くの解説者がこの数字の意味を探ろうとあれこれ仮説を立てて来ましたが、皇帝ネロのことだとか、ヒトラーだとか。しかし、むしろこの世界にはこのように人々を扇動し、サタンの化身や偶像を拝ませ、支配しようとする偽預言者が絶えず出てくるということではないでしょうか。そして最後に最強の偽預言者が現れると!故に、私たちには「知恵が必要である」と警告されているのです。

本日の集会 礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会

礼拝後：・成人祝福・壮年/婦人各会・幼稚園理事會